

問 電気エネルギーの100%
地産地消を

地球温暖化抑止のために、RE100【太陽光等の再生可能エネルギーにより電気エネルギー100%の地産地消】を目指しては如何か。農業を続けながら太陽光発電するソーラーシェアリングにより農業の継続と地球温暖化抑止に貢献できるのではないか。

答 自給率向上を目指し、
節電を呼びかける

市の一部施設で太陽光パネルを設置しているが、自給自足には程遠い。自給率向上を目指し、職員には一層の節電等を呼びかける。また、市としてソーラーシェアリングによる発電施設を設置することは困難だが、実施している他市町の状況等を注視していきたい。



齋藤信治 議員
(TSUNAGU)



市民体育祭 開会式

問 スポーツ推進計画を
策定しないか

市のスポーツ施策の方向性を定めるスポーツ推進計画を定めるべきではないか。スポーツをする市民の増加、体育授業しかしない子どもへのスポーツ推進、地域の賑わい・コミュニティの創設、アダプテッドスポーツ*の推進等を、特に考慮することが必要である。

*障がい者も楽しめるように工夫されたスポーツ

答 スポーツ推進計画の
作成に取り組む

令和2年度からスポーツ推進計画の作成に取り組む。スポーツ施設は、地域の賑わい・コミュニティの創設につながることを考慮して維持管理していく。また、障がい者スポーツをはじめ、市民の皆さまが身近にスポーツに親しめる環境づくりの推進を図っていく。

問 子どものLGBT
(性の多様性)に理解を

誰もが通う「学校」で早い時期から人間の性を含む多様性について勉強したり、肯定的な話を聞くことで、すべての子どもたちの人権感覚を育てることができる。学校の環境整備が必要。性的マイノリティへの配慮として、制服にスラックスを導入しては。

答 よりよい制服について
研究を進める

制服へのスラックスの導入は、気候に合わせた衣服調整や動きやすさなど、性的少数者だけではなくすべての生徒にメリットがあるものとする。費用やデザインの検討など課題があるため、さまざまな意見を踏まえながら今後研究していく。



中山廣子 議員
(公明党)

問 ペット防災の検討を

災害が起こり、避難が必要な時は、ペットと同行避難をするのが原則。そのために平常時より、飼い主としての心構えや、準備、しつけを行う。行政はペットの受け入れが可能な避難所の選定、整備を行う必要がある。市の総合防災訓練のメニューに入れては。

答 ペットとの同行避難に
ついて検討する

ペットとの同行避難について、受入体制を施設管理者と意見交換を行う。
また、総合防災訓練や自主防災組織の避難訓練、各指定避難所単位での避難所開設訓練などでの実施に向け検討していく。

